

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	マーケティング	2	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
マーケティング（東京法令）	マーケティング ワークブック（東京法令）

科目の目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、マーケティングに必要な資質・能力を身につける。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
②思考・判断・表現	マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価方法	
①知識・技能…定期試験、小テスト ②思考・判断・表現…定期試験、提出物の点検 ③主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み状況	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	現代市場とマーケティング	市場環境の変化 マーケティングの発展 マーケティングの流れ 消費者行動	①現代市場におけるマーケティングの概要について理解することができる。 ②マーケティングの意義と課題について、現代市場の特徴と関連付けて見出すことができる。 ③現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
5	市場調査 情報の分析	市場調査の目的と方法	①市場調査について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。	○	○	○
	中間試験			○	○	○
			②市場調査に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析することができる。			
6			③市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
7	期末試験			○	○	○
	製品政策 (シズクリプロジェクト)	製品政策の概要 製品企画と生産計画	①製品政策について企業における事例と関連付け理解することができる。 ②製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案して実施し、評価・改善することができる。			

9		製品企画と生産計画 販売計画と販売予測	③製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	中間試験①			○		○
10	価格政策 (シヅクリプロジェクト)	価格政策の概要 価格の種類と決定の方 価格史枝作の動向	①価格政策について企業における事例と関連付けて理解することができる。 ②価格政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、価格政策を立案して実施し、評価・改善することができる。 ③価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	中間試験②			○	○	○
	チャネル政策	チャネル政策の概要	①チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解することができる。	○	○	○
11	(シヅクリプロジェクト)	チャネルの種類と特徴 チャネル政策の動向	②チャネル政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、チャネル政策を立案して実施し、評価・改善することができる。 ③チャネル政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
	期末試験①			○		○
	プロモーション政策	プロモーション政策の プロモーションの方法 プロモーション政策の	①プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解することができる。 ②プロモーション政策に関する課題発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、プロモーション政策を立案して実施し、評価・改善することができる。	○	○	○
12	問題演習		③プロモーション政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。 ①これまでに学習した内容について、理論と実務を関連づけて理解している。	○	○	○
1	冬課題試験			○		○
	問題演習		②これまでに学習した内容について、課題を見いだし、根拠に基づいて、改善策を立案して実施し、改善することができる。	○	○	○
2	全商商業経済検定 マーケティング（全員）					
	問題演習		③これまでに学習した内容について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
3	学年末試験			○	○	○
	1年間の振り返り		③1年間の振り返り、次年度に向けて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○